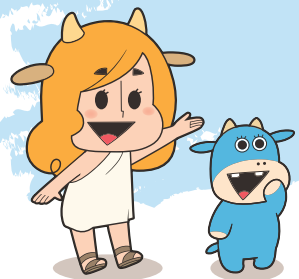


ゼウシくんからの挑戦!

Q. ウィンナーソーセージとは
どの動物の腸に詰めた
ソーセージか?



- 【あ】牛
- 【い】豚
- 【う】羊
- 【え】どれでもよい

協力:公益社団法人全国食肉学校



© Zeushi-kun

※答えは本ページ下部にあります。

さらに役立つ! 誌面づくりを目指して

読者の皆さまからお寄せいただいた
声を誌面へと反映いたしました。

「和牛のゲノム情報を教えていただきたい」
(120号アンケートへのご回答/鳥取県 森田雄一さん他より)
→本誌「畜種トピックス(肉牛)」(10ページ)にて反映

知っておきたい ちくさん用語!

スリーセブン方式 (9ページより)

スリーセブン方式とは、1週間の単位で飼養管理作業を定型化するウィークリー方式を、3週間の単位とする生産システムで、7つの群(ロット)で構成される。3週分の作業が1日に集中するため母豚規模の大きい農場には向かないが、連続飼育となっている農場ではオールイン・オールアウトを検討できる方式。また、集中作業日以外での連休取得も可能となる。

編集後記

第3回和牛甲子園は、昨年より多くの高校が参加し、高校牛児たちの熱い想いが溢れる大会となりました。校肉勉強会では、自分達が育てた牛の枝肉が高く評価され、涙をこぼす生徒の姿も。どれだけ本気で牛と向き合い、真摯に取り組んできたかが伝わってくる2日間でした。(T)



JA全農あきた
『さくらんぼと米粉の
パウンドケーキ』
(5個入り)



e-mail: zz_zk_chikusan_ club@zennoh.or.jp

メールでご応募の場合の必要記載事項①次号のテーマへの回答と本誌に関するご意見②お名前③家畜の種類④郵便番号⑤ご住所⑥電話番号⑦全国配合飼料供給安定基金加入者名⑧本誌への名前記載の可否(掲載不可の場合はペンネームか匿名)又、個別のご質問への回答は行っておりませんので、ご了承ください。

メール用
QRコード



プレゼント

本誌に対するご意見や、読者アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選でJAタウンに出品されている各地の名産品等をプレゼントします。とじ込みハガキ・FAX用紙・メールをご利用ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。ご回答は、誌面に掲載される場合があります。お名前の掲載が不可の方はペンネームか匿名希望を明記ください。

締め切り:2020年5月20日到着分まで

ちくさんクラブ21及びハガキ・FAX・メール、アンケートの個人情報保護法対応ご提供いただいた個人情報は①誌面企画への反映、②質問に対する回答発送、③意見に対する確認作業、④プレゼント発送に利用いたします。また、この情報はJA全農からの情報提供を目的として利用させていただきます。個人情報はJA全農個人情報保護方針に基づき厳重に管理いたします。詳しくは「JA全農ホームページ」にあります個人情報に関するご案内をご覧ください。http://www.zennoh.or.jp/

読者の広場

2020年になって感染拡大している新型コロナウイルス。マスク不足などが発生して大きな話題となっています。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。今回はこの春から始めてみたい事などについてお聞きしました。

Q. この春から始めてみたい事は
何ですか?

- 親子でランニング。いつかマラソン大会にチャレンジし走りたいです。
(宮崎県・和牛 匿名)
- 犬を飼いはじめたので、一緒にウォーキングをしながらの散歩。
(宮城県・和牛繁殖 もあいさん)
- 和牛子牛の低落を見ているので、低コストにつながる糞と粗飼料の自家生産。
(宮崎県・和牛 大西 準一さん)

Q. 畜舎の清掃で、一番手間のかかる
部分や場所といえば?

- 牛舎の床。
(新潟県・和牛 匿名)
- なんといっても天井や壁のクモの巣と、畜舎内で使っているラジオです(牛のために24時間つけています)。
(岐阜県・和牛繁殖 栄 由佳理さん)
- ボロ出しはもちろんですが、天井が低いのでクモの巣取りと、四すみの掃除と石灰消毒。
(宮城県・和牛繁殖 門間 みよ子さん)

「読者からひと言」

- 「輸入牛肉が増加していますが、国産牛との比較をいろいろな角度から教えてください」
(兵庫県・和牛繁殖 匿名)
- 「いつも大変興味深く参考にさせていただいております」
(青森県・和牛繁殖 小笠原 明さん)
- 「養豚情報をもっとたくさん!」
(新潟県・養豚 坂上 慎治さん)

※お寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、誌面制作の参考とさせていただきます。
「読者の広場」には締め切り日までにいただいた分を掲載しています。

表紙写真
JAグリーン近江肉牛部会F1委員会の皆さんと
関係者の皆さん、和牛甲子園の開催シーンと、
全農親子料理教室より

編集委員
三浦康治/中尾山隆司/鮎持和幸/澤 明/佐藤哲誠/藤田和政
大畑博義/佐藤由治/泉瑞枝/出雲智子/江崎尚二/高橋光
藤田勇気/児玉博士/関口美加/岩瀬かをり/坪野佳奈子

発行元
JA全農畜産生産部推進・商品開発課
東京都千代田区大手町1-3-1
TEL03-6271-8236
FAX03-5218-2526

編集協力/株式会社青丹社
デザイン/株式会社パンパー
撮影/人羅秀二、竹田宗司、長谷和仁、富貴塚悠太
執筆/澤村美紀、今野靖人、橘晶子
イラスト/川崎敏郎

校正/くすのき舎
印刷/大日本印刷株式会社

次号(128号)から リニューアル!!

明日につながる技術・情報、業界の動きなど新企画にてお届けします。どうぞご期待ください。

- ▶日常生活では衛生面をどのように強化されていますか?
- ▶家畜の改良について、どのような事を望みますか?

令和2年4月発行(隔月発行)※本誌の無断転載を禁じます

見てみて! うちの農場 vol.13

-高等学校編-

岐阜県立大垣養老高等学校(和牛一貫)



岐阜県で牛を飼育する4校の農業高校が連携して、飼養管理技術向上に取り組んでいます。本校の牛舎では繁殖牛7頭、子牛、育成牛、肥育牛を合わせて25頭を飼育しています。養牛専攻生は2年生13名、3年生13名が活動しています。自家保留をし、岐阜県畜産共進会に出品しています。本校から岐阜県の種雄牛を造成したいと思っています。



基礎雌牛「なぎさ2」号と
娘牛、孫娘牛

農場で働くご家族、従業員の方々などを写真とともに紹介します。写真には簡単な説明を書き添えていただき、お気軽に編集部までご送付ください。なお、写真の返却は致しかねます。あらかじめご了承ください。宛先は「〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JA全農畜産生産部推進・商品開発課/ちくさんクラブ21編集部」もしくは、eメール「zz_zk_chikusan_club@zennoh.or.jp」まで。